



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成31年 1月10日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライガクテイクヰクリカイギ  
団体名 平井学区地域づくり会議  
所在地 [Redacted]  
連絡先 [Redacted]  
フリガナ ヒライガク テイクヰクリ カイギ  
代表者 役職・氏名 議長 那須 和夫 [Redacted]

※出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。  
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり    オ その他
事業名称	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施小学校区・地区	平井小学校区
事業実施回数	新規 ・ <input checked="" type="radio"/> 継続 5 回目 / 【平成27年度から】
課題	平井学区地域づくり会議では、専門部会として「高齢者対策専門部会」を立ち上げ認知症予防対策の一環として「オレンジカフェひらい」を月1回開催している。又「地域課題・ニーズ調査専門部会」では子供たちの居場所づくりとして「プレイパーク」を年2回開催している。その他、地域の山陽学園大学や旭東病院の協力を得て「健康チェック」等も実施している。 今後も地域課題の掘り起こしや課題解決策の継続検討及び具体的な事業検討を行っていく予定であるが、さらなる基盤整備と地域課題に対応した新たな事業や新サービスの創出に努めたいと考えている。
事業の目的	地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としている。 まず高齢者対策として、認知症の早期発見のための取り組みや認知症予防の観点から「オレンジカフェひらい」を立ち上げ月1回開催してきた。 また子供たちの居場所づくりの一環として「プレイパーク」を計画し年2回程度実施している。 まだまだ、高齢者対策、子供たちの居場所づくりの拡充に力を注いでいきます。

<p>事業の内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 認知症予防対策として「オレンジカフェひらい」を月1回開催</li> <li>2 子供達の居場所づくりの一環として「プレイパーク」を年2回開催</li> <li>3 地域の住民の健康対策として「健康チェック」を年2回開催</li> <li>4 認知症のことをよく知り、理解を深め認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を年2回程度開催する</li> <li>5 急な災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を平井専用IDカードと共に地域のお年寄りに配布する</li> </ol>
<p>期待される成果・目標</p>	<p>【期待される成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり会議の構成委員は、各種団体の代表者から構成されており、議論された内容や方針など所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る。</li> </ul> <p>【平成31年度の事業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防のための「オレンジカフェひらい」は、月1回の開催を継続する。</li> <li>・「健康チェック」、「認知症サポーター養成講座」は年2回の開催を目指す。</li> <li>・地域課題・ニーズ調査専門部会は、「プレイパーク」を年2回実施すると共に、新たな子供たちの居場所づくりを検討する。</li> </ul>
<p>企画などの工夫</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域づくり会議で議論された課題やテーマに応じて専門部会を発足させ、同部会で具体検討を行う。</li> <li>・専門部会で検討された課題解決策や対策事業の計画などは、地域づくり会議に諮り、審議する。同プロセスにより、効率的な会議運営を行う。</li> <li>・学区発刊の新聞や学区のホームページに掲載し、活動内容をアピールする。また他地域づくり会議発行のチラシを作成し、活動内容をアピールする。</li> </ul>
<p>協働する団体等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陽学園大学・山陽学園短期大学</li> <li>・岡山旭東病院</li> <li>・井村医院</li> <li>・岡山市ふれあい介護予防センター</li> <li>・東山中学校区及び平井小学校区の学校園</li> <li>・NPO みんなの集落研究所</li> <li>・ボーイスカウト団体</li> </ul>
<p>事業の情報公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシの作成と世帯配布 地域づくり会議発行</li> <li>・学区発刊の新聞に掲載 平井学区連合町内会</li> <li>・学区ホームページに掲載 平井学区電子町内会</li> <li>・各種団体の発刊誌に掲載 地区社協、地区民児協、学区愛育委員会</li> </ul>

<p>学区地区への広がりを</p>	
<p>前年度からの見直し拡充点</p>	<p>(1)認知症予防対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オレンジカフェひらい」を月1回開催することを継続すると共に、「健康チェック」も継続して開催する。</li> <li>・認知症のことをもっと理解し、認知症の方に優しい平井学区を目標として昨年1回開催した「認知症サポーター養成講座」を、年2回程度開催したい。</li> </ul> <p>(2)子育て世代の課題とニーズ対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「プレイパーク」を年2回開催を継続しながら、子供たちの居場所づくりについてもっと別のアプローチを、新たにメンバーとなった学校関係者と共に協議する。</li> </ul>
<p>次年度以降の予定</p>	<p>①次年度以後の活動計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度（平成31年度）事業活動のチェック（PDCAmCA）</li> <li>・次年度継続事業の活動計画策定と実行</li> <li>・地域課題の残課題検討の方向付けと検討</li> <li>・支援体制の仕組みづくり</li> <li>・新サービス事業の検討と構築 等</li> </ul> <p>②資金の確保について</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>次年度も区づくり推進事業を申請する予定</p> <p><input type="checkbox"/>（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。</p> <p>資金確保の具体的な方策：</p>
<p>その他PRしたい点</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区内の単位町内会・自治会に対し、本会議をモデルケースに地域で支え合う仕組みづくりや町内会の問題をみんなで考えたり。話し合うことの重要性を訴求し、単位町内会・自治会へ同様の会議体設立を推進する足がかりとしたい。</li> <li>・近年、国の内外で発生する、地震や大水害、巨大台風の発生等に備え、従来とは異なる自主防災について考えていく必要があると考えている。</li> </ul>

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催
5月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「認知症サポーター養成講座」開催(日程未定)
6月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催
7月	①「オレンジカフェひらい」開催
8月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「健康チェック」開催
9月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催
10月	①「オレンジカフェひらい」開催
11月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「プレイパーク」開催
12月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②定例会開催
1月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「認知症サポーター養成講座」開催(日程未定)
2月	①「オレンジカフェひらい」開催
3月	①「オレンジカフェひらい」開催 ②「健康チェック」開催 ③会議報告・反省会

# 収支予算書

## ◆収入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	225,000	225,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	225,000	225,000	
参加者負担金			
協賛金			
寄付、他収入			
計	450,000	450,000	

## ◆支出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
消耗品費	30,000	100,000	
食糧費	50,000	50,000	
印刷製本費	60,000	50,000	
燃料費	10,000	20,000	
通信運搬費	30,000	40,000	
使用料	40,000	40,000	
委託料	100,000	50,000	
報償費	120,000	60,000	
保険料	0	20,000	
旅費	10,000	20,000	
計	450,000	450,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	○希望する	希望しない
-----------	-------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

「オレンジカフェひらい」「プレイパーク」「健康チェック」等を例年通り開催しながら、新たな課題に対応した事業や新サービスを推進するために必要である。

注①：前年度決算額が確定していない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・通信運搬費・広告料・手数料・使用料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。